

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(11/14)

	評価区分(※)	評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
かがわ医療福祉総合特区 (香川県)	正	3.3	3.7 進捗度 「ドクターコム」等による遠隔医療の推進 ・ドクターコム等で診察する在宅患者数 78% ・ドクターコム等利用時間 89% 医療ライブラリ事業実施によるへき地離島の医師等の負担軽減 ・医療ライブラリに掲載されるコンテンツ数 125% ・研修に要する時間の縮減 250% 等	2.8 財政支援等ドクターコム利活用促進事業 医療ライブラリ事業 等 地域独自の取組 複合型福祉サービス充実事業 等	3.4	<p>・過疎化が進む島嶼部やへき地での遠隔地医療支援や福祉サービスの提供については、全体的に着実な進捗が認められ、島嶼部の医療システムの持続可能性が高まることに寄与すると期待される。</p> <p>・小豆島の個人所有車両の市町村有償輸送を含めた島内交通体系の見直しと、病院施設の福祉施設への転用は当該事業の基幹であり、実現への道筋を示すべき。特に病院施設の福祉施設への転用は、進捗の工程が分かる指標を立てて管理すべき。</p> <p>・小豆島中央病院が開院した後も同病院を中心にした医療連携システムを構築するため、へき地薬局等の取組みの認知度を高める必要がある。</p>

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)